

雜 報

◎人 事

正五位 畑 文 平
 絨從四位 (3月2日)
 野々村 太 郎
 任國立結核療養所醫官
 絨高等官七等 (6月3日)
 九州帝國大學教授 皆 見 省 吾
 補九州帝國大學醫學部附屬醫院長
 九州帝國大學醫學部附屬醫院長職務俸金八百拾圓
 下賜
 九州帝國大學評議員ヲ命ス (6月3日)
 數 野 太 郎
 絨從七位 (3月2日)
 上 田 徹 也
 絨從七位 (3月2日)
 石 島 達
 絨從七位 (3月2日)
 從五位 清 水 光 治
 絨正五位 (3月16日)
 橘 英 基
 絨從七位 (4月1日)
 八 塚 陽 一
 絨從七位 (4月1日)
 陸軍軍醫中尉 安 藤 貢
 任陸軍軍醫大尉 (5月25日)
 岡山醫科大學臨時附屬醫學專門部教授 金 津 晴 亮
 八級俸下賜 (6月20日)
 逓信醫 笹 田 金 一
 廣島逓信病院小兒科醫長ヲ命ス (6月20日)
 岡山醫科大學附屬醫院藥劑手 長谷井 美 善
 任國立結核療養所調劑官
 斜高等官七等 (6月25日)

岡山醫科大學助教授 玉 川 忠 太
 本俸十級俸下賜 (6月26日)
 國立結核療養所調劑官 長谷井 美 善
 十級俸下賜
 山陽莊勤務ヲ命ス (6月25日)

- 高原劍二郎君 廣島市南觀音寺町1の791へ轉居
- 野々村太郎君 豫て岡山醫科大學北山内科教室へ勤務中の處今回山口縣吉敷郡東岐波村傷痍軍人療養所へ轉勤さる
- 赤松金四郎君 豫て岡山市立市民病院産婦人科醫長として勤務中なりしも今回今治市大正通りに於て開業せらる
- 坂中只一君 岡山市弓之町61へ轉居
- 田川正三君 岡山市花畑操町へ轉居
- 石井忠信君 岡山醫科大學産婦人科教室に勤務
- 奥田一誠君 豫て岡山醫科大學産婦人科教室に勤務中の處今回岡山市立市民病院産婦人科醫長として轉勤さる
- 田中四郎君 豫て岡山市立市民病院長として勤務中なりしも今回岡山市門田屋敷に於て開業さる

德盛大成君 明治36年岡山醫學專門學校を卒業せられし君は去る5月18日病のために遠逝せられたりと寔に哀悼に堪へず茲に謹みて弔意を表す

◎學位授與

豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求中なりし山中英、岡田要、徳久克己、橋英基の4君は6月3日附、江原敏夫、五島洋の2君は6月4日附、原半三郎君は6月17日附を以て同大學より醫學博士の學位を授與せられたり。其の論文下記の如し

山中 英君

主論文

血糖竝ニ皮膚糖ノ消長ニ關スル實驗的研究(邦文)

第1編 生理的狀態ニ於ケル血糖竝ニ皮膚糖
昭和17年4月岡山醫學會雜誌第54年第4號ニ發表

第2編 1,2單糖類投與ト血糖竝ニ皮膚糖
昭和17年5月岡山醫學會雜誌第54年第5號ニ發表

第3編 「アチドージス」ト血糖竝ニ皮膚糖
昭和17年6月岡山醫學會雜誌第54年第6號ニ發表

第4編 「レントゲン」濃霧ト血糖竝ニ皮膚糖
昭和17年7月岡山醫學會雜誌第54年第7號ニ發表ノ豫定

第5編 動靜脈血血糖ト皮膚糖
昭和17年8月岡山醫學會雜誌第54年第8號ニ發表ノ豫定

參考論文

其ノ1 網狀内皮細胞系統ト「プリン」代謝ニ關スル研究(邦文)

昭和13年2月日本內科學會雜誌第25卷第11號ニ發表

其ノ2 肺結核患者ニ於ケルウエルトマン氏反應及ビ其ノ他1,2ノ補助診斷法ニ就テ

昭和10年10月日本內科學會雜誌第23卷第7號ニ發表

其ノ3 肋膜炎ノ統計的觀察

(光田利三郎、長野曠共著)

昭和10年2月大阪醫事新誌第6卷第12號ニ發表

岡田 要君

主論文

歐氏管狹窄竝ニ歐氏管筋ニ關スル研究

第1編 所謂歐氏管中耳「カタル」ノ統計的觀察

昭和17年5月大日本耳鼻咽喉科會會報第48卷第5號ニ發表

第2編 人體歐氏管筋ノ組織學的研究

昭和17年5月大日本耳鼻咽喉科會會報第48卷第5號ニ發表

第3編 猫ノ歐氏管筋ノ組織學的研究

昭和17年5月大日本耳鼻咽喉科會會報第48卷第5號ニ發表

參考論文

其ノ1 聾ヲ胎シテ治癒シタル耳性化膿性腦膜炎ノ1例 (山末一雄共著)

昭和15年8月大日本耳鼻咽喉科會會報第46卷第8號ニ發表

其ノ2 鼻腔内硬性乳嘴腫ニ就テ

(山末一雄共著)

昭和14年12月耳鼻咽喉科第12卷第12號ニ發表

其ノ3 顔面打撲ニ因ル下甲介膿瘍ニ就テ

(山末一雄共著)

昭和15年3月耳鼻咽喉科臨牀第35卷第3號ニ發表

其ノ4 鼻咽腔纖維腫ニ對スル「ラヂウム」療法ノ效果ニ就テ (松浦祐一、黒川孝一共著)

昭和14年11月大日本耳鼻咽喉科會會報第45卷第11號ニ發表

其ノ5 角化性扁桃腺炎ニ於ケル口蓋扁桃腺内ノ骨及ビ軟骨組織ノ存在ニ就テ

昭和14年10月耳鼻咽喉科第12卷第10號ニ發表

- 其ノ6 扁桃腺炎ト關節「ロイマチスムス」トノ
關係ニ就テ (黒川孝一共著)
昭和15年11月耳鼻咽喉科臨牀第35卷
第11號ニ發表
- 其ノ7 舌骨下咽頭截開術ニヨリテ摘出セン大
イナル會厭囊腫ノ1例
昭和16年10月耳鼻咽喉科臨牀第36卷
第10號ニ發表

徳久克己君

主論文

「ビタミン」B₁ 及ビ B₂ ノ雌性性器ニ及ボス實
験的研究

第1編 「ビタミン」B₁ 及ビ B₂ 缺乏飼料ガ雌
性白鼠ノ性周期ニ及ボス影響
昭和17年1月産科婦人科紀要第25卷第
1號ニ發表

第2編 「ビタミン」B₁ 及ビ B₂ 缺乏飼料ガ雌
性白鼠ノ妊娠ニ及ボス影響ニ就テ
昭和17年1月産科婦人科紀要第25卷第
1號ニ發表

第3編 「ビタミン」B₁ 及ビ B₂ 缺乏飼料飼養
白鼠ノ解剖的竝ニ組織的所見
昭和17年1月産科婦人科紀要第25卷第
1號ニ發表

參考論文

- 其ノ1 「ビタミン」B₂ ニヨル早産虛弱兒哺育
ニ就テ
昭和16年11月産科婦人科第9卷第11
號ニ發表
- 其ノ2 新産兒尙痿病問題ニ就テノ檢討(第8
報) 妊娠時「ビタミン」D劑服用ノ母竝ニ
其ノ新産兒ノ血清無機磷量總「カルシウム」量
及ビ新産兒骨線の所見
(高原章夫共著)
昭和17年5月岡山醫學會雜誌第54年第5
號ニ發表

- 其ノ3 子宮囊腫ノ1例
昭和14年9月産科婦人科紀要第22卷第
9號ニ發表
- 其ノ4 初産婦正常位胎盤早期剝離ノ1例
昭和15年12月岡山婦人科會報第1號ニ
發表
- 其ノ5 多發頭血腫ノ1例
昭和16年2月産科婦人科紀要第24卷第
2號ニ發表
- 其ノ6 卵巢顆粒膜細胞腫ノ臨牀知見補遺
(古市正典共著)
昭和17年7月産科婦人科紀要第25卷第
7號ニ發表ノ豫定

橋英基君

主論文

移植腎ニ於ケル實驗的研究(邦文)

- 第1編 昭和17年5月岡山醫學會雜誌第54
年第5號ニ發表
- 第2編 昭和17年6月岡山醫學會雜誌第54
年第6號ニ發表

參考論文

- 其ノ1 腎盂及ビ輸尿管ノ重複症知見補遺
昭和17年3月岡山醫學會雜誌第54年第
3號ニ發表
- 其ノ2 2,3金製劑及ビ高張低張食鹽水ノ實驗
家兎赤血球沈降速度ニ及ボス影響
昭和15年10月岡山醫學會雜誌第52年
第10號ニ發表
- 其ノ3 微毒性乾癬知見補遺
昭和12年5月岡山醫學會雜誌第49年第
5號ニ發表
- 其ノ4 腎臟皮下損傷ノ知見補遺
昭和13年8月岡山醫學會雜誌第50年第
8號ニ發表

江原 敏 夫 君

主 論 文

皮膚感受性ノ實驗的研究

第1編 實驗的肝臟障得ノ皮膚及ビ血液電解

質並ニ皮膚感受性ニ及ボス影響

昭和17年6月岡山醫學會雜誌第54年第
6號ニ發表

第2編 Vitamin Bノ皮膚及ビ血液電解質

並ニ皮膚感受性ニ及ボス影響

昭和17年7月岡山醫學會雜誌第54年第
7號ニ發表ノ豫定

第3編 上皮小體剔出ノ皮膚及ビ血液電解質

並ニ皮膚感受性ニ及ボス影響

昭和17年8月岡山醫學會雜誌第54年第
8號ニ發表ノ豫定

參 考 論 文

其ノ1 血小板ノ研究

第1報 種々ナル皮膚疾患患者ニ於ケル血小

板ノ消長ニ就テ

昭和15年3月岡山醫學會雜誌第52年第
3號ニ發表

其ノ2 血小板ノ研究

第2報 Esophylaxin及ビ Disseptalニヨル

血小板並ニ血液凝固ニ及ボス影響ニ就テ

昭和15年8月岡山醫學會雜誌第52年第
8號ニ發表

其ノ3 「ピエログラム」ノ研究

第1報 腎臟結核ニ於ケル「ピエログラム」ノ

研究 (福井朋安共著)

昭和13年1月岡山醫學會雜誌第50年第
1號ニ發表

其ノ4 「ピエログラム」ノ研究

第2報 腎臟及ビ輸尿管結石ニ於ケル「ピエ

ログラム」ノ研究

昭和13年7月岡山醫學會雜誌第50年第
7號ニ發表

其ノ5 腎臟結核ノ診斷ニ就テ

(根岸 博共著)

結核臨牀第3卷第1號ニ發表

其ノ6 「アクチゾール」ニ依ル淋疾治驗

昭和15年6月岡山醫學會雜誌第52年第
6號ニ發表

五 島 洋 君

主 論 文

卵管間質部ニ關スル研究

第1編 卵管間質部ノ形態學的研究

象形複成術ヲ應用セル模型ニ據ル立體的研究

其ノ1 正常卵管間質部

昭和17年1月岡山醫學會雜誌第54年第
1號ニ發表

其ノ2 病的卵管間質部

昭和17年1月岡山醫學會雜誌第54年第
1號ニ發表

第2編 子宮卵管造影時ニ現ハルル所謂卵管

括約現象ニ就テ

昭和17年1月産科婦人科紀要第25卷第
1號ニ發表

參 考 論 文

其ノ1 卵管炎ニ關スル統計的觀察

昭和16年12月岡山婦人科會報第2號ニ發表

其ノ2 妊娠末期ニ於ケル兒頭ノ骨盤ニ對スル

關係ニ就テ (伊藤壽彦共著)

昭和16年6月産科婦人科紀要第24卷第
6號ニ發表

其ノ3 子宮癌末期患者ノ疼痛ニ對スル ドリオ

ツチ氏腰椎内酒精注射療法

昭和14年5月臨牀産科婦人科第14卷第5
號ニ發表

其ノ4 新産兒先天皮膚缺損症

昭和15年12月産婦人科紀要第23卷第
12號ニ發表

其ノ5 先天性胎兒腹膜炎

(宅間恒治共著)

昭和17年1月産科婦人科紀要第25卷第
1號發表

原 半 三 郎 君

主 論 文

先天性嚔啞ノ成因ニ關スル實驗的研究

昭和17年8月 大日本耳鼻咽喉科會會報
第48卷第8號ニ發表ノ豫定

參考論文

其ノ1 癍痕「ケロイド」ニ對スル「ラヂウム」療

法

昭和16年3月 大日本耳鼻咽喉科會會報
第47卷第3號ニ發表

其ノ2 胎生期口蓋形成ニ當リ左右口蓋突起癒
合部ニ遺殘セル鼻粘膜原基ヨリ生成セリト思
惟セラルル口蓋正中ニ發生セル囊腫ノ1例

昭和16年2月耳鼻咽喉科臨牀第36卷第
2號ニ發表

其ノ3 喉頭「ヂフテリー」ノ療法ニ就テ

(黒川孝一共著)

昭和15年8月實験醫學報第26卷第310號
ニ發表

其ノ4 喉頭「ヂフテリー」ノ豫後位ニ就テ
ニ就テ (獨文)

(高原滋夫、谷豐共著)

昭和17年2月 岡山醫科大學歐文業府第
7卷第1號ニ發表